

アジア主要金融市場比較 —国際金融センターになる条件—

童 適平（松山大学）

一、アジア主要金融市場規模比較及びその特徴

二、アジアにおける金融センター（中心）になる条件

国際金融センターは資金の国際流動においてリードの役割を果たすことがその主な役割である。効率よくこの役割を果たすのに次の条件が不可欠である。

- 1、金融取引の効率：良好な金融秩序及び柔軟性と効率性が同時に備わる金融規制システムが存在すること；
- 2、金融秩序を維持するインフラ：金融に関する法律制度及び会計制度が完備し、そのサービスを提供する人材などが存在すること；
- 3、金融サービスの費用：税率、人件費及び事務コストなどが含まれる；
- 4、安定的な社会政治環境のこと。

三、アジア主要金融市場の将来

香港、シンガポール、東京及び上海は国際金融センターになろうと努力している。しかし、現在のところ、それぞれ短所と長所を持ち、絶対優位があるとは言いにくい。

東京はかつてロンドン、ニューヨークと並んで、国際金融センターになっていたが、株式市場の規模に限られていた。バブルの崩壊とアジア地域経済の発展と国際化に伴い、国際金融センターが東京を遠ざかっていきつつある。当然ながら、日本の経済規模と金融改革の努力で、東京は依然として有望である。

香港も有利な条件が少なくない。中国大陸企業の香港株式市場上場により、経済規模の弱点を克服し、努力している。

上海も国際金融センターになることを明言した。経済高成長がそのバックグラウンドであるが、乗り越えなければならない難関は相当横たわっている。良好な金融秩序と効率のある管理監督はまず解決しなければならない課題である。そして、遠くない将来、資本流動自由化と人民元国際化の問題もある。この二つの課題の解決はどれも一朝一夕ではない。また、香港の行方も上海に影響するであろう。

金融情報技術の発達により、アジア主要金融市場がそれぞれの長所に長けて、役割を果たすことは一つの選択になるかもしれない。